

# ときようすくわくプログラム活動報告書

ふれあ保育園新小岩

葛飾区西新小岩1-2-4 うだがわビル1階

## 1・活動のテーマ

【テーマ】音

『音』の楽しさを見つける

【テーマの設定理由】日々の生活の中で自然と音に興味を示し楽しむ様子が見られた為

(テーマの関する子供の興味関心、園の特色など)

初めは園にある物や散歩先で音が鳴ることに気付き楽しんでいましたが、楽器棚を導入しいつでも楽器を手に取りれる環境を整えると、いつでも園内に音が聞こえる様になり、興味を更にひく様になる

## 2・活動スケジュール

12月・・・クリスマスソングに合わせてリズムに合わせてたり、音を鳴らして楽しむ

1月・・・楽器に気付き、興味を持ち音が鳴ることを知る

2月・・・楽器の楽しさ、不思議さを感じる

## 3・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

12月・・・手作り楽器に触れる機会を設ける

1月・・・楽器棚を導入し楽器を展示することで、楽器が身近になり自由に触れられる工夫をする

2月・・・楽器に慣れ、どんな音がするのか音に気が付けるような声掛けを行う。音を一緒に鳴らし聞けるようにする

## 4・探究活動の実践

【活動の内容】

初めは散歩先のポールやベンチを叩いてみたり、石で音がする事に気付いたり落ち葉を踏みしめると音が聞こえ不思議がる様子が見られた。そこから手作り楽器を用意すると思いついて叩いたり振ったりと楽しんでた。更に楽器棚を導入し、いつでも楽器に触れられる環境を作ると常に誰かが楽器に触れ音を奏でる為、自然と楽器に触る事が増えてきた。どこから音がするのか、どんな風にすると音がなるのか、考える様子も多く見られ、保育者も一緒に活動に加わって楽しみ、より興味を持てるような関わりをした。

## 【活動中の子供の姿・声・子供同士や保育者との関わり】

(活動の内容、活動中見られた子供の姿、保育者との関わり等)

落ち葉を踏み「カサカサ音がする!」「どこから?」と探す姿がみられた。「シー!」と音に耳を傾ける。「これ使いたい!」「太鼓って言うんだよ」「たいこ、かーしーてー」どこから音が聞こえるのか耳を当てて探す様子も見られた。使い方が上手く出来ないと、保育者の手を引いて楽器の所まで連れて行ったり、手に持たせる姿も見られた。



## 5・振り返り

### 【振り返りによって得た先生の気づき】

普段の様子の中でいろいろな物を叩いて遊ぶ様子が見られていた。音を鳴らす事、振って鳴る事以外にも自らこすって音を出してみたり、叩きつけて音の大きさを変えてみたりと、鳴らし方を工夫する様子もみられ、保育士の想像をしていない鳴らし方をされていて、新しい発見となった。

保育室のピアノに触れる時間を設けると、恐る恐る触れる姿もっと自由に触れられる環境を整える必要があると思い、楽器棚を導入し自由に楽器に触れられる環境を作ると、思い思いに楽器に触れ音が鳴ることを楽しんでいて、どこから音がするのか、どんな音がするのか、やり方で音の鳴り方などの違いを探り体感する姿に感心した。常に園内に音が響いている環境に興味と刺激を受けていたので、今後の活動計画につなげていく。